

本参考資料は 2014 年 9 月 17 日(現地時間)に中国・上海で発表されたプレスリリースの翻訳版です。

<参考資料>

2014 年 10 月 1 日  
華為技術日本株式会社

## ファーウェイ、 FusionServer シリーズとサービス指向のインフラストラクチャを発表 イノベーションにより簡便で効率的なコンピューティングを実現

ファーウェイ(中国語表記:華為技術、英語表記:HUAWEI)は 2014 年 9 月 17 日、「ファーウェイ・クラウド・コンGRESS 2014(HCC2014)」において、Intel® Xeon™ E5-2600 v3 プロセッサを使用した最新の FusionServer V3 シリーズ・サーバーを発表しました。今後、FusionServer シリーズを通じて、ビッグデータ、クラウド・コンピューティング、仮想化、ミッションクリティカルな法人向けアプリケーションなどに適した幅広いサーバー・ソリューションを提供していきます。

ファーウェイの IT プロダクトラインのサーバー事業部門ジェネラル・マネージャーである邱隆(チュウ・ロン)は HCC2014 において、未来指向のサービス指向インフラストラクチャ(Service-Driven Infrastructure、以下 SDI)を初公開し、同社の最新実績をサーバー市場のパートナー企業に向けて紹介しました。

邱は次のように述べています。「ファーウェイは 2014 年第 2 四半期のサーバー出荷台数で世界第 4 位、中国では第 2 位になりました<sup>※1</sup>。ファーウェイ製サーバーの優れた性能と画期的な運用がグローバル市場で認められた結果、シェア拡大に繋がったものと考えています。2013 年第 3 四半期以来、ファーウェイはグローバルでのサーバー出荷台数において 4 四半期連続で第 4 位を維持しています<sup>※2</sup>」



HCC2014 で FusionServer シリーズを発表するファーウェイ IT プロダクトライン サーバー事業部門ジェネラル・マネージャー 邱隆

### お客様中心の継続的イノベーションに基づき開発された未来指向の SDI

邱は次のように続けます。「ファーウェイのサーバー市場における着実な成長は当社の存在感が安定して高まっていることを示すと同時に、当社が機敏で効率的かつ使いやすさを考慮したコンピューティング・サービスを提供し、お客様のニーズに応えようと尽力していることが評価されたものです。当社が目標とするコンピューティング・サービスを提供するためには、コンピューティング、ストレージ、ネットワーク・アーキテクチャを分離し、あらゆるリソースを共有リソース・プールに統合して、リソースをオンデマンドで構成できるようにしていく必要があります」

サービス導入の際には通常、インフラストラクチャに対する特定の要件(SLA や QoS など)が示され、インフラストラクチャはアプリケーション・ポリシーに基づいてリソースを動的に割り当てています。このプロセスはお客様には見えません。この機能を導入するためにファーウェイは、従来の「ソフトウェア+標準サーバー」インフラストラクチャとは異なるクラウド・データセンター向けの SDI を開発しました。SDI はソフトウェア定義によるストレージ (Software-Defined Storage、SDS)、SDN、ソフトウェア・モジュール、ハードウェア・モジュールで構成されています。

サーバー、ストレージ、ネットワーク・リソースはこれまで、CPU により制御されてきました。しかし SDI モードでは、SDI に対応したハードウェアがストレージとネットワーク・リソースを一元的に制御しており、ユーザー指向のコンピューティング・サービスを提供するサーバーが統合リソース・プールに追加され、最終的にデータセンターのインフラストラクチャが形成されます。SDI により、安定性と信頼性を備えた高性能のインフラストラクチャ・レイヤがお客様のアプリケーションから論理的に分離され、このレイヤはソフトウェア定義によりアプリケーション・システムに先駆けて実行されます。

### オープンなコンバージド IT インフラストラクチャ FusionServer

ファーウェイはオープンでコンバージェントかつ革新的なクラウド・データセンター向け IT インフラストラクチャを構築するというミッションのもと、HCC2014 において FusionServer シリーズを発表しました。このソリューションは高いパフォーマンス、信頼性、省エネルギー、機敏なコンピューティングを実現するもので、今回の発表はファーウェイのサーバー市場でのポジショニングと戦略を体現しています。クラウド時代を迎える中、ファーウェイは今後もこうしたコンバージド・プラットフォームを提供するとともに、深い専門性と豊富な経験を生かして、お客様のビジネスの発展を支援していきます。

### あらゆるサービスに適用可能な汎用アーキテクチャの X6800 サーバー

HCC 2014 ではさらに、クラウド・データセンター向けでは最高レベルのインフラストラクチャとなる X6800 サーバーも発表しました。

X6800 は高い拡張性と信頼性を備え、省エネルギー、省スペースで効果的な運用保守と円滑なプラットフォームの切り替えを可能にするデータセンター向けサーバーで、ROI(Return On Investment: 投資利益率)を最大化し、TCO(Total Cost of Ownership: 総所有コスト)を最小限に抑えます。X6800 サーバーのアーキテクチャは特に SDS、ビッグデータ、SDI などのアプリケーション向けに最適化されており、あらゆるサービスに適用できるとともに、変化し続けるサービス需要に対応します。



HCC2014 で X6800 データセンター向けサーバーを展示

HCC2014 ではこのほかに、Intel® Xeon™ E5-2600 v3 プロセッサーを採用した FusionServer V3 サーバー・シリーズも発表されました。

- ミッション・クリティカルな法人向けサービスに適した RH1288 V3、RH2285 V3、RH2288 V3 ラック・サーバー
- E9000 コンバインド・インフラストラクチャ・ブレード・サーバー対応の CH121 V3、CH220 V3、CH222 V3、CH242 V3 サーバー・ノード

FusionServer V3 シリーズは、作業負荷削減のために最適化されたファウエイのオープンでコンバージェントなサーバー・ソリューションの豊富なラインナップの 1 つで、スケールアウト、スケールアップ、コンバインド・インフラストラクチャ、I/O アクセラレーションなど多岐にわたる応用を実現します。

#### ULLtraDIMM SSD による超低レイテンシ・ソリューション

HCC2014 ではまた、SanDisk が開発した超低レイテンシの ULLtraDIMM SSD も展示しました。ファウエイは高性能のデータベースや仮想化を実現するため、レイテンシがより低く、より広帯域の高速化ソリューションを提供していくことに注力しています。今後は、ULLtraDIMM SSD と、大容量で高い処理能力を備えたファウエイの RH8100 V3 または RH5885H V3 サーバーを組み合わせた優れたキャッシュ・ソリューションを提供していきます。超低レイテンシ・ソリューションを

利用することで、OLTP(Online Transaction Processing: オンライン・トランザクション処理)および OLAP(Online Analytical Processing: オンライン分析処理)における仮想化やデータベースのキャッシュ性能が向上することになります。

※1 出典: ガートナー「Quarterly Statistics: Servers, Worldwide, Q2, 2014 Update (August 26, 2014)」

※2 出典: ガートナー「Quarterly Statistics: x86 Servers, All Countries, Q3, 2013 Update (November 4, 2013)」

#### 【ファーウェイについて】

ファーウェイ(中国語表記: 華為技術、英語表記: Huawei)は、世界有数の ICT ソリューション・プロバイダーです。お客様志向のイノベーションとお客様との強い信頼関係により、通信ネットワーク、端末、クラウド分野におけるエンド・ツー・エンドの競争優位性を確立しています。ファーウェイは通信事業者、企業、消費者の皆様へ最大の価値を提供すべく献身しており、競争力の高いソリューションおよびサービスを 170 か国以上で提供し、世界人口の三分の一にもおよぶ人々の ICT ソリューション・ニーズに応えています。

日本法人(ファーウェイ・ジャパン)は 2005 年に設立され、日本市場のニーズに応えるべく幅広い製品ならびにサービスを提供しています。詳しくは、当社ウェブサイト: [www.huawei.com/jp/](http://www.huawei.com/jp/)、フェイスブック: [www.facebook.com/HUAWEI.JAPAN](http://www.facebook.com/HUAWEI.JAPAN)、ツイッター: [twitter.com/HUAWEI\\_Japan\\_PR](https://twitter.com/HUAWEI_Japan_PR)、LINE: 'ファーウェイ'で検索、YouTube: <http://www.youtube.com/user/HuaweiDeviceJP> をご覧ください。

#### 【報道関係者様の問い合わせ先】

ファーウェイ・ジャパン(華為技術日本株式会社)  
広報担当 江島  
TEL: 03-6266-8065 Email: [yuka.ejima@huawei.com](mailto:yuka.ejima@huawei.com)  
URL: <http://www.huawei.com/jp/>